

町政を問う

限界集落の対策・対応は



岸本小学校授業中



渡部 勇

若手後継者に受け皿作りを

町長 個人資産に対するバラマキ施策はしない

渡部 伯耆町の高齢化率は何%か。限界集落は、何集落か。

担当課長 高齢化率32.3%で、限界集落は、6集落ある。

渡部 5年先、10年先を考え、集落の衰退・消滅が地域資源保全に及ぼす

影響について調査をし、限界集落への対応を考えるべきでは。

担当課長 県が5年ごとに山間集落実態調査をしているので参考にしたい。

渡部 平井知事は、市町村と共に限界集落への移住促進やお試し住宅の整

備を進める考えを表明、町長の考えは。

町長 6月定例会の幸本議員の答弁と同じになる

が、誰も住みたい所に住む。住み良い町にする施策を継続する。

渡部 若者の75%は県内居住志向が強いという調査が出た。この若者たちを応援する受け皿作りの施策を考えないか。

町長 政策理念が合わない、個人資産に対するバラマキ施策はしない。

学校週5日制から週6日制導入は

渡部 伯耆町内の小・中学校は、ゆとり教育がさかれているが、「6日制」導入の検討は。

教育長 9月2日、校長会で具体的に土曜授業に



ついで意見交換をしました。

渡部 授業時間増は学力向上になるのか。児童・生徒への負担増になるか。

教育長 中学生については負担増とならないのでは。

渡部 学校統合により教員増、少人数授業の充実で教員の負担は。

教育長 教員増で教員の

負担は軽減するのではないか。

伯耆町主催の戦没者追悼式へ中学生の参列を

町長 参列を妨げるものが何もない。

教育長 平和教育の時間として40時間取ってある。その中に組み込むことができるか検討する。